

2024年2月8日木曜日 10時30分～12時15分

2月度理事会

出席：合田、川口、空田、小林、林田、富田、山縣、福本

開催方法：組合事務所1階会議室

議題

1. 令和6年1月収支について

- 収入は約554万、支出は約457万で、損益としては約97万のプラスとなった。要因としては工事収入が例年に比べ多かったためである。しかしながら、昨今は修繕件数が減っており、2月以降の売り上げには注視する必要がある。今年度の損益は約781万と前月より改善された。今後、災害応援に伴う支出が控えており、損益自体は昨年並みになるのではと予想されている。
- 組合所有のPE管融着機が、経年劣化により修理調整費用が嵩むようになってきた。一方、各組合員のPE管融着機保有率が上昇しているであろう関係で、レンタル機会が減少し、終始的には±0に今年度はなりそうである。今後、融着機の更なる劣化に伴う修理費の高騰が起こった場合、処分も含めて検討する必要がある。

2. 総会開催の準備について

- 次回総会に伴う予定の確認を行なった。役員改選の年にも当たり、早めの準備が必要である。永年勤続等の提出期限や、事前説明会の日程も確認。各委員会の開催は、準備の関係もあり昨年度よりも少し早めを予定している。第60回通常総会開催日は、5月17日(金)の予定。

3. 能登半島地震応急復旧応援要請について

- 今日現在、12社が参加表明。
- 復旧応援に関しては、日々情報が更新されている。
- 2月12日より、山口県として山陽小野田市が先ず出動する。続いて、宇部市が、その次が下関市の順番。昨日までと違い、少し後ろにずれている。国の方針

として3月末を目処としているが、現地の状況は厳しく、4月以降の要請や3月までの追加応援の可能性も十分に有る。準備には最低でも2週間は必要であり、そこまでは進めておく必要がある。

- 山口県は横浜市と同じ班に所属。1ローテーションは基本1週間で、前後1日ずつは移動日となる。派遣地域は町野地区。
- 現在、レンタル機材や購入工具・備品を精査しており、工具備品に関しては粗方決定し発注が終わっている。出勤がなくなった場合でも、これらは組合事務所に保管し、次の災害時に備える。
- 詳細に関しては、参加表明をされている組合員に資料を送付する。
- 義援金に関して、工具・備品等の購入と出勤して頂いたインセンティブ分を考慮し、出勤要請前100万円だった予定を50万円に変更する。寄付先は下関市を窓口とし、石川県に届く。出勤しなかった場合で、予算がまだ取れるようであれば再検討する。

4. その他

- ① 第3回しもみず杯は、能登半島地震を考慮し、3月12日の予定を延期する。
- ② 次年度組合従業員の処遇について。
- ③ 次年度理事・監事に関して、次回理事会迄に具体案を。

以上